



# ボラン・て

# 3月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

## ～出会い・つながり・発見！～ —CROSS TALK(クロストーク)—



ささえあい  
これからも

杉並社協 創立70周年



設立70年を超え歴史ある「杉並ユネスコ協会」。令和に設立されコロナ禍においても工夫して活動している団体「NPO法人こだまの集い」。それぞれの団体の活動や運営、杉並への思いなどをクロストーク（対談）していただきました。

【特集】 杉並ユネスコ協会 顧問 <sup>あさくら</sup> 朝倉 <sup>ようこ</sup> 洋子さん(写真左)

会長 <sup>さとう</sup> 佐藤 <sup>なおこ</sup> 直子さん(写真右)

NPO法人こだまの集い 代表理事 <sup>むろつ</sup> 室津 <sup>ひとみ</sup> 瞳さん(写真中央)

3面・・・東京女子大学・留学生の地域体験報告  
災害ボランティアワークショップ報告

4面・・・特技さん発表会、団体登録・情報通知登録の更新  
ボランティア保険のご案内、  
杉並ボランティアセンターホームページリニューアルのお知らせ

ご確認  
ください！

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。

いつもご協力ありがとうございます。

## 【特集企画】 ～出会い・つながり・発見！～ —CROSS TALK(クロストーク)—

### 杉並ユネスコ協会 (以下「ユネスコ」)

1951年9月設立。団体会員92名。日本のユネスコ加盟(1951年7月)を受け、ユネスコ憲章の理念に基づいて開始。民間ユネスコ活動として、杉並区教育委員会との共催、区内他団体や東京都ユネスコ連絡協議会と協働事業を行っています。特に青少年に向けて、多文化理解と平和精神を育てる活動を続けています。

### NPO法人こだまの集い (以下「こだま」)

2019年5月設立。団体会員12名。育児と介護が重なるダブルケア両立のため、啓発セミナーやワークショップなどの開催、大学と連携したダブルケア支援の研究、支援者向けのテキストの制作出版を行っています。ダブルケア支援を入口に多世代が活躍できる社会の仕組みづくりを目指しています。

今回は、ユネスコ顧問・朝倉洋子さん、会長・佐藤直子さん、こだま代表理事・室津瞳さんのクロストークです。

### 団体のはじまり

**佐藤:** 都内のユネスコ協会は26団体ありますが、杉並は東京初の団体です。設立当時の70年前は民間の団体は多くありませんでした。現在は区との共催・協賛事業が多く、平和に向けての講演会、バスツアー、最近ではSDGsを取り入れたゴミ問題やフードロスの活動もしています。

**朝倉:** SDGsに呼応して、すべての人が高い教育を受けられる日本ユネスコ協会連盟の識字運動(世界寺子屋運動)に関する活動もしています。中学生クラブという社会教育センターと一緒に言う活動もしています。

**室津:** 私が団体を立ち上げたのは、自分がダブルケア(子育てと介護)当事者だったからです。当時は看護師として働いており、多少の介護に関する知識はあると思っていましたが、それでもとても大変で、これは介護知識のない方にとっては相当厳しいだろうと思いました。当事者の支援を行う体制を整える仕組みづくりを目指しています。



▲座談会の様子

情報紙「ボラン・て」では今年度の企画として、地域活動団体や人同士のクロストークをお届けします。①話している団体・人同士が新しい発見や気づきがある②読者の方々が地域活動をするためのヒントとしていただく、そのような企画になることを願っています。

### 団体の活動や運営について

**室津:** 70年超の歴史の中で団体の変わったこと、変えてはいけないことを教えてください。

**佐藤:** 変わったのは会員の減少です。変えてはいけないのは、団体の理念です。他の団体とつながり、団体の持っているスキル、持っていないスキルをお互いに補っています。協働することの大切さを感じています。

**室津:** 私は社会にダブルケア当事者を支える下地ができることを目標にしていますので、目標を達成したら2040年頃には団体を解散したいです。

**朝倉:** ダブルケア当事者の支援例を教えてくださいませんか。

**室津:** ダブルケア当事者は子ども・高齢者・自身のやるべきことの優先順位の判断で悩みます。もう仕事を辞めてしまわないと無理という相談者には、働き方を変えることを提案しました。週3日勤務のフレックスタイム制度を使用して乗り越えた方もいます。仕事を辞めると収入が減り、1人にケアが集中し負担が増えてしまいます。

**朝倉:** 活動資金はどうされていますか。

**室津:** 会費やセミナー等の謝礼でなんとか運営しています。コロナ禍では持続化給付金が有難かったです。社会福祉協議会の地域福祉活動費助成金もいただいています。寄付を携帯のポイントで払ってもらえるような仕組みも作りました。

**佐藤:** 私たちも区の協働事業では共催分担金をいただいています。他の事業は会費頼みです。活動資金は大切ですね。

### 杉並への想い

**佐藤:** 杉並は高齢者が住みやすいところであり、昔から自主的な活動も多くされている地域です。昔からの活動も新しい活動も大事にして、これからも暮らしやすい街になるといいと思います。

**朝倉:** 杉並は地域活動も文化も面白いですね。子育てのサポートにも力を入れて、全世代が住みやすい地域にしたいものです。

**室津:** 私も育児や介護があっても住みやすい街になってもらいたいと思っています。多世代が輝ける仕組みづくりをしていきたいですね。



▲表紙のメッセージを相談中



### 杉並ユネスコ協会

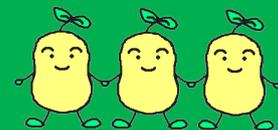
杉並ユネスコ協会

事務局 〒167-0043 杉並区上荻2-34-10山田様方  
TEL: 090-6105-6633 メール: suginami@unesco.or.jp  
公式サイト <https://suginami-unesco.org/>



### NPO法人 こだまの集い

〒167-0042 杉並区西荻北2-3-9 コメットビル6階  
TEL: 090-4523-2788 メール: kodamanotsudoi@gmail.com  
公式サイト <https://www.kodamanotsudoi.com/>



2021年「ボラン・て」6月号で取材させていただいた東京女子大学現代教養学部・松尾慎教授ゼミとのご縁で、中国・韓国等からの留学生の方々に、地域体験の様子を日本語で書いていただきました。今回は、子ども食堂（西荻寺子屋食堂@かがやき亭）に参加した留学生の記事です。前回（2023年2月号）に引き続き、今回も地域とつながりたいという留学生の想いを感じていただければ幸いです。（頂いた原文のまま掲載）

【メンバー】 シュウ・キンセイ、キム・ウンソ、サイ・ランキュウ、ソ・ユビン

子ども食堂（西荻寺子屋食堂@かがやき亭：毎月第二第四土曜日開催）でお手伝いをしました！

まず寄付されたパントリーの物資を開封、仕分けする組、配布する野菜を分ける組、調理する食材を切る組の3つに分かれます。完成した料理を弁当箱に入れ、事前に予約した世帯数を確認しながら、パントリーの物資といっしょに分けました。手順が慣れていないため少し苦労しましたが、地域の繋がりを感じました。

はじめは「孤食」をなくすところだと思っていましたが、豊富な材料を使った食育や地域社会交流のための場所づくりなど、様々な目的を持って活動している場所であるということも知りました。

またキッチンの作業を通して子ども食堂のメニューが気になり調べて発表をしました。経済的な面からも鶏肉がよく使用されていました。

毎回ボランティアのメンバーは違いますが、積極的にコミュニケーションを取り協力しました。「見知らぬ人」から「知り合い」になり、同じ作業をしながら仲間を得ていく、それが「子どもの居場所」の意味なのだとわかってきました。出会った人と同じ目標に向かって努力するのはとても温かいと感じました。いつのまにか、自分の居場所にもなりました。

**※留学生の皆様、寄稿ありがとうございました！**



▲お弁当作りの様子



▲フードパントリー  
(食品配布)

## ご報告

## 令和4年度 災害ボランティアワークショップを開催しました

大規模災害発生時の被災者支援の災害ボランティア活動において、地域の各団体との連携・ネットワークづくりを進めるため、2月18日（土）にワークショップを開催しました。当日は杉並区内で活動を行っている17団体・19名のみなさんにご参加いただきました。

地震発災後に想定される困りごと（ニーズ）に対して、「**団体としてどのような支援が出来るのか**」「**その困りごとを予防したりスムーズな支援を行うために、普段からどのような備えや活動ができるか**」について、6つのグループに分かれて意見交換を行いました。

参加者のみなさんからは「災害が発生した時に、団体出来ることを考えるきっかけになりました」「他の団体の方々と意見交換ができて良かった」「災害時は他団体の方とつながりを持っていると心強いと実感しました」といったご感想をいただきました。

今後も活動団体のみなさんと一緒に、平時から災害について連携を意識した取り組みを行っていきます。



▲ワークショップの様子

Hello!  
登録団体さ〜ん Vol.12

★杉並ボランティアセンターの登録団体を紹介するコーナー。団体登録受付中！

軍手人形「てぶちゃん」だよ



### ◆ハート・トゥ・アート実行委員会

- ・活動内容:アート(表現や創作活動)に関するイベント等の開催。アートに関する情報発信や多世代交流の機会を創出。てぶちゃん人形などによる地域イベントの装飾のお手伝いほか。
- ・活動場所:中央線沿線 ・活動日時:不定期

てぶちゃんは、情報紙「ボラン・て」の表紙にもいます！

### お問合せ

杉並ボランティアセンター  
〒167-0032 天沼3-19-16  
ウエルファーム杉並4階  
TEL:03-5347-3939 FAX:03-5347-2063  
H P: <http://borasen.jp/>

ぼらせん.jp

検索





# 特技さん発表会を行いました！

2月17日（金）、特別養護老人ホームフェニックス杉並の防災拠点型地域交流スペースあかつきにて「特技さん（特技ボランティア）発表会」を開催し、約80名の方が来場されました。「特技披露」では、三味線・朗読・フラダンス・南京玉すだれ・歌の団体5組が、来場された皆さんの前で見事な芸を見せてくださいました。また、同時開催の「体験会」では、色鉛筆塗り絵・パステルシャインアート・自分史相談・ひな人形づくり・紅茶のいれ方体験を5名の特技さんに行っていただきました。参加者は各ブースで特技さんにコツなどを教えてもらい楽しまれました。

来場された地域の方々や福祉施設の方々から「もっと見たかった」「楽しかった」「特技さんのすごさに感動です」等と嬉しいお声をいただきました。今後も皆さんとつながる取り組みを行っていきます。



▲特技披露の方々（特技さん）



▲受付ボランティアの方々



▲大盛況の会場



▲体験会の先生方（特技さん）

## 団体登録・情報通知登録の更新

令和4年度の団体登録、情報通知登録は、令和5年3月31日で登録期間が終了となります。令和5年度も登録を希望される方・団体は、更新の手続きが必要です。

### 団体登録

令和5年度団体登録票にご記入の上、添付書類を付けて当センターへご提出ください。  
※当センターのホームページからも申請が可能です。

### 情報通知

令和5年度情報通知登録票にご記入の上、当センター窓口へ持参、又は郵送でお送りください。右のQRコードからも申し込みできます。



## ボランティア保険のご案内

令和5年度ボランティア保険・行事保険の受付を開始しました。4月1日からの活動は、改めて加入する必要があります。

### パンフレット等配布・加入申込み手続きについて

【開始日】 3月1日（水）～  
【場所】 ウェルファーム杉並4階  
杉並ボランティアセンター

※保険料（変更なし）・補償内容（変更あり）  
詳細は下記、東京福祉企画のホームページをご確認ください。

東京福祉企画 検索 <http://www.tokyo-fk.com/>

※令和4年度のものを使用できません。  
※パンフレット等の郵送は対応しておりません。

【杉並ボランティアセンター ホームページリニューアルのお知らせ】  
旧 <http://borasen.jp/> → 新 <https://borasen.jp/> ※4月1日から変わります。  
お楽しみに！



## 杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会  
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階  
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063  
メール: info@borasen.jp ホームページ: <http://borasen.jp>

うえるくん  
杉並協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日  
8:30～17:00



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド（区内JR、地下鉄丸の内線など）・他

\* 祝日・年末年始はお休みです。